

潮来市の財政状況と決算

をお知らせします!



令和6年度は約5億9千万円の黒字決算となりました。

歳入 142億2,358万円
歳出 136億2,650万円

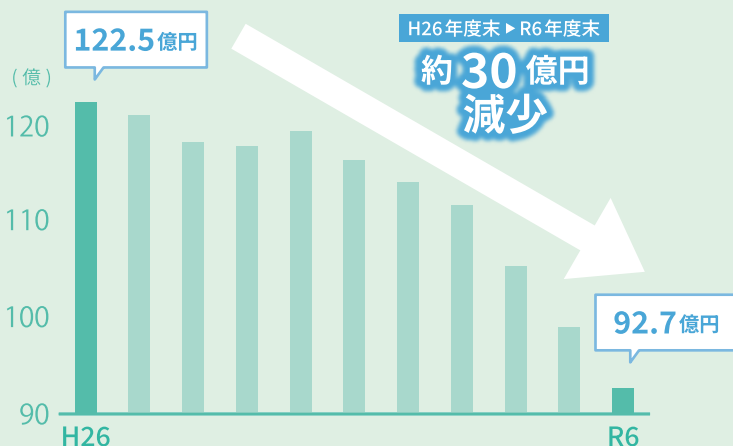
5億9,708万円の黒字

「都市計画税」廃止に替わる財源確保

市税収納率の向上(平成27年度94.7%→令和6年度97.5%)や、ふるさと納税の拡充等の自主財源確保の取組により、平成28年度に廃止した「都市計画税」を上回る財源を確保することができました。

潮来市の借金(市債残高)の状況

「市債」とは、公共施設や道路等の整備に充てた市の「借金」です。



市債の残高(借金)は年々減少傾向にあり、平成26年度末からは約30億円「減少」しました。

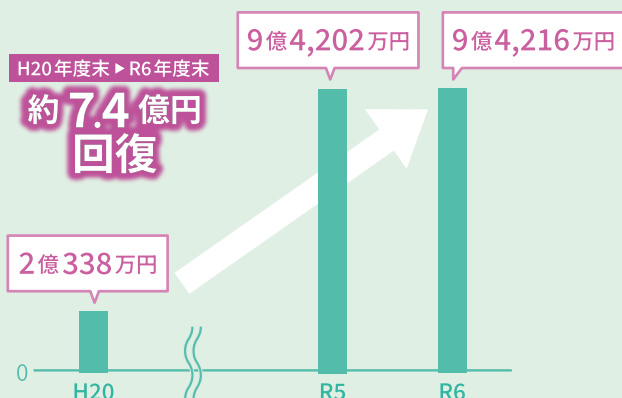
参考

公債費(毎年の借金返済額)は、平成26年度の約13億2千万円から、令和6年度は約12億7千万円に約5千万円「減少」しました。

潮来市の貯金(財政調整基金)の状況

「財政調整基金」とは、大規模災害や不測の事態が発生した際などに活用する市の「貯金」です。

令和5年度末残高	令和6年度末残高	増減比較
9億4,202万円	9億4,216万円	+14万円 ↑



残高は前年度よりも増加し、近年でもっとも少なかった平成20年度末からは約7.4億円「回復」しました。

この貯金の適正規模は、一般的に標準財政規模の10%~20%程度とされています。令和6年度末の残高は標準財政規模の12%ほどとなっており、市の貯金は「適正規模」となっています。

潮来市の財政健全度（健全化判断比率）の状況

「健全化判断比率」とは、財政運営の「健全度」を示す4つの指標です。
いずれの指標も、国が示す基準値内となっており、潮来市の財政は「健全」な状況です。

令和6年度 潮来市の値 国の基準値	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	0% 13.79%	0% 18.79%	9.7% 25.0%	38.1% 350.0%
健全度	○	○	○	○

※数値は県による検収完了前の速報値です。

潮来市の財政のゆとり（経常収支比率）の状況

「経常収支比率」とは、毎年経常的に入ってくる収入に対する、人件費など毎年度恒常にかかる経費（固定費）の割合を示し、財政の「柔軟性やゆとり」を表す指標です。

平成20年度	令和5年度	令和6年度	比較
97.2%	93.0%	92.5%	0.5%改善

比率は前年度よりも改善し、近年でもっとも割合が高かった（ゆとりがなかった）平成20年度の97.2%からは**4.7%「改善」**しました。



Q 潮来市の財政はどうしてよくなったの？

A 国や県の補助事業を最大限活用しています！

津軽河岸あと広場の整備や、水郷潮来バスターミナルの整備、前川運動公園人工芝サッカー場整備などの多くのお金がかかる事業も、しっかりと事業の計画や目標をたてて、国や県の補助金などを獲得したり、国の交付税措置がある制度を活用するなど、極力、市民のみなさまからお預かりした（財源市税など）を使わずに実施することができたからです。



Q 潮来市の財政は良いけど、市民の人にとって良いことって増えてるの？

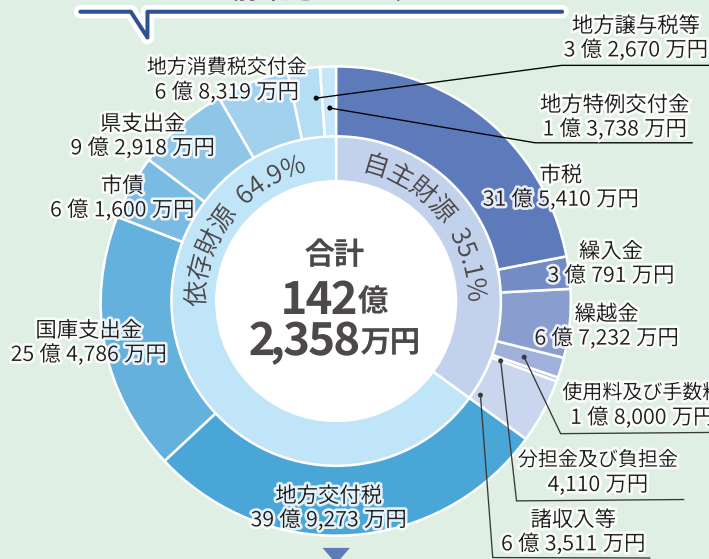
A 補助金などを最大限活用したことにより、市民の皆さんへ、小中学校の学校給食費無償化や小学校入学児へのランドセル支給、医療福祉（マル福）の拡充といった切れ目のない子育て支援や、带状疱疹ワクチン接種費用や不妊治療費用の一部助成など、市民生活向上にむけた取り組みを進めることができました。



令和6年度の決算

歳入

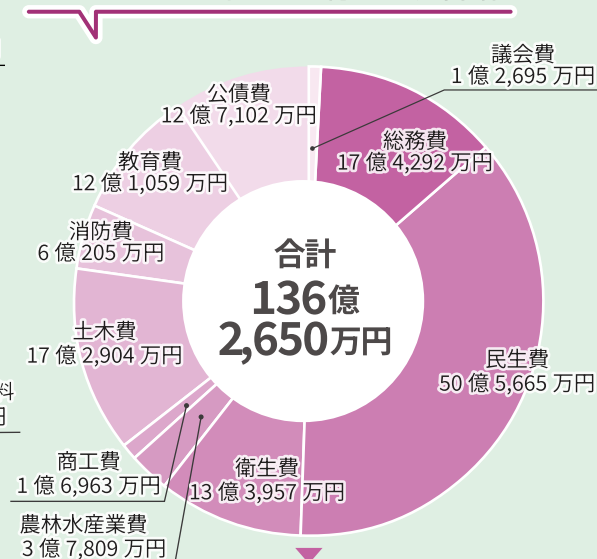
総額 142億2,358万円
前年比 3,265万円増



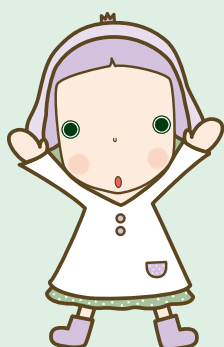
1人あたり収入額 … **54万8,983円** (年額)

歳出

総額 136億2,650万円
前年比 1億789万円増



1人あたり支出額 … **52万5,937円** (年額)



一般会計の決算状況

歳入 …………… **142億2,358万円**
 歳出 …………… **136億2,650万円**
 差引残高 …………… **5億9,708万円**
 翌年度へ繰り越すべき財源 …… **1億1,326万円**
 実質収支額 …………… **4億8,382万円**



全会計の決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	142億2,358万円	136億2,650万円
特別会計		
国民健康保険	30億8,119万円	30億5,741万円
介護保険	25億3,984万円	24億6,332万円
後期高齢者医療	4億4,161万円	4億4,056万円
企業会計		
水道事業収益	7億3,013万円	6億7,617万円
水道事業資本	1億6,867万円	2億6,248万円
工業用水道事業収益	1,661万円	1,631万円
工業用水道事業資本	0円	107万円
下水道事業収益	13億920万円	12億9,073万円
下水道事業資本	6億6,541万円	8億5,397万円

一般会計の1人あたり支出額内訳

議会費 …………… 4,900円
 総務費 …………… 6万7,271円
 民生費 …………… 19万5,170円
 衛生費 …………… 5万1,703円
 農林水産業費 …… 1万4,593円
 商工費 …………… 6,547円
 土木費 …………… 6万6,735円
 消防費 …………… 2万3,237円
 教育費 …………… 4万6,725円
 公債費 …………… 4万9,057円

※端数処理をしているため、合計額と内訳額は必ずしも一致していません。

令和6年度 主な事業



市民協働分野

地域と高校・大学が連携した事業に加え、移住定住促進や地域おこし協力隊の活動を展開し、地域のつながり強化と活性化に取り組みました。



保健・医療・福祉分野

地域の医療体制を充実させるため、新たに開業する循環器内科専門医院を支援し、医療機関の誘致を推進しました。また、妊産婦や子育て家庭を幅広く支えるため「潮来市こども家庭センター」を設置し、相談支援体制を強化しました。



行財政分野

AI自動応答電話（あやめまつり・ごみの分別）の導入で問い合わせに対応し、市民サービスの向上と行政の効率化を推進。さらにふるさと納税も積極的に進め、約2億7千万円の寄附を募ることができました。



教育・文化分野

潮来小・津知小の統合に向け潮来小学校体育館の改修に取り組み、学校給食費の無償化で子育て世帯を支援。さらに前川運動公園人工芝サッカー場の増設に着手し、スポーツ振興とツーリズム推進に取り組みました。



産業振興分野・生活環境分野・土地利用・基盤整備分野

その他3つの分野では、産業振興分野で潮来行方IC周辺の新産業拠点整備や潮来IC周辺のスポーツ・観光交流拠点形成に取り組み、地域産業や観光の活性化を進めました。生活環境分野では防災訓練や高齢者ゴミ出し支援、消防機庫整備などを行い、安全で快適な暮らしづくりに努めました。土地利用・基盤整備分野では道路や排水路、公園、公共施設の整備・維持管理やコミュニティバスの実証運行を通じ、持続可能な地域交通網の形成にも取り組みました。さらに、物価高騰に対応し、低所得世帯や子育て世帯への給付金も実施しました。



今後も「住みたいまち潮来」の実現に向けて取り組んでいきます。

行政サービスのあり方について常に点検を行いながら、創意工夫によって国や県の補助金といった新たな財源の獲得に積極的に挑戦し、今後も市民サービスの向上に努め、安心・安全なまちづくりを市民のみなさまとともに進めてまいります！